

特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会  
**新春福祉交流セミナー開催要項**

**【趣旨】**

平成23年度日本社会福祉学会秋季大会のメインテーマは「ソーシャルワークの本質を考える～原理的な問いと実践力を創り出すもの～」であった。二日間にわたり多方面から議論が交わされたが、学会長が述べられたように政策面と実践力の両面での課題が横たわり日本社会にソーシャルワークがまだ十分定着していないとの指摘は否めない。社会福祉の政策と実践の在り方については、これまでも先進的諸国から多くの学びを得てきた、近年は福祉大国といわれるスウェーデンからも学び研究も盛んである。しかしそのスウェーデンも1992年の「エーデル改革」以降新たな歩みを始めている。そこで、この度、日本の社会福祉の事情にも精通されている関西学院大学のエルス マリー アンベッケン教授をお招きし、母国に帰国される前に日本との比較を交えながらの基調講演を企画した。またシンポジウムでは、政策面と実践の両面での課題が横たわり社会福祉が停滞している間にも、福祉政策の狭間で日常生活に困難をきたしたり地域ネットワークにたどりつけない人々に、新たな視点と手法によって、できるだけ住み慣れた地域社会で人間としての尊厳を保ちながら自立生活を維持できるよう支援活動を展開している先駆的取り組みを学び、そこからソーシャルワークの新たな認識を深めたい。

長い歴史に培われ、また先人が残した多くの業績が今日に受け継がれ、福祉の町を自負する今日の大阪がある。今回のセミナーで報告される実践活動の発信が、やがて全国的な拡がりにつながることに願っている。

記

1. 日 時：**平成24年1月7日(土) 13:00～17:00**
2. 会 場：**大阪ガーデンパレス**(〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35)  
TEL 06(6396)6211(代表)
3. 企画内容 **～日本の社会福祉はこれでいいのか～**

総合司会： 大阪ソーシャルワーカー協会 石 井 勲

**第1部 基調講演 「スウェーデンからみた日本の社会福祉」**

講師 **エルス マリー アンベッケン氏** (関西学院大学人間福祉学部教授)  
13:15～14:15 (60分)

**第2部 シンポジウム 「地域の福祉を拓く新たな支援活動」**

14:30～17:00 (150分)

・シンポジスト

**「社会貢献事業の推進」**

藤井寺特別養護老人ホーム 施設長 奥 田 益 弘 氏

**「コミュニティソーシャルワーカーの実践から」**

豊中市社会福祉協議会 地域福祉課長 勝 部 麗 子 氏

**「ボランティア・市民活動の拡がり」**

大阪ボランティア協会 企業市民活動推進センター主任 影 浦 弘 司 氏

・コーディネーター：(大阪ソーシャルワーカー協会) 大 塚 保 信

4. 参加費 (資料代を含む) 会 員：(日本ソーシャルワーカー協会) 無料  
非会員：学生 500 円 一般 1,000 円

お問い合わせ：主 管 **大阪ソーシャルワーカー協会**

主 催 **特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会・・・**

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8番地 森山ビル西館4階401号室

(Tel:03-5913-8871 Fax:03-5913-8872 E-mail:jasw@jasw.jp)

参加申込は別紙へ